

販売名：小児用レオスミンシロップA

小児用総合感冒薬（かぜ薬）

小児用レオスミンシロップA

「かぜ」にかかると発熱や頭痛、せきなど、さまざまな症状が現れます。そして「かぜ」にかかったために抵抗力が落ち、いろいろな病気にかかりやすくなりますから、出来るだけ初期のうちに治すことが大切です。

「小児用レオスミンシロップA」は「かぜ」のさまざまな症状の緩和に有効な成分を配合した飲みやすいシロップです。

1. 発熱、痛みなどに……

アセトアミノフェンが「かぜ」による悪寒、発熱、頭痛、関節の痛みにすぐれた効果をあらわします。

2. せき、たんなどに……

ジヒドロコデインリン酸塩、dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩が気管を拡げて「せき」をしずめ、気道粘膜に貼りついている「たん」をうすめてはき出しやすくし、のどを楽にします。

3. 鼻みず、鼻づまり、くしゃみに……

クロルフェニラミンマレイン酸塩が「かぜ」のひきはじめに見られる鼻水、鼻づまり、くしゃみなどのアレルギー症状に効果をあらわします。

⚠ 使用上の注意

本剤は小児用ですが、かぜ薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

してはいけないこと ❌

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

（眠気等があらわれることがある。）

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

5. 服用前後は飲酒しないこと

6. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- 授乳中の人。
- 高齢者。
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

症状の名称	症状
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
便秘、口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

年齢	1回量	1日服用回数
3歳以上7歳未満	5mL	3回
1歳以上3歳未満	3mL	

1日3回食後及び必要な場合には就寝前に服用する。また場合によっては、1日6回服用することとしても差支えないが1日6回服用する場合には、原則として約4時間の間隔をおいて服用すること。(目盛付コップ添付)

用法及び用量に関する注意

- ・用法及び用量を厳守すること。
- ・小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- ・7歳未満の小児には、医師の診療を受けさせることを優先すること。

成分と作用

成分	30mL中	作用
日局アセトアミノフェン	300mg	熱を下げ、痛みをしずめます。
日局ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せきをしずめ、たんを切ります。
日局dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩	15mg	
日局クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
日局無水カフェイン	35mg	頭痛をしずめます。

添加物としてクエン酸、白糖、ブドウ糖果糖液糖、D-ソルビトール、安息香酸ナトリウム、赤色102号、香料、アルコールを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 計量用コップは使用のつど、水洗いなどして常に清潔に保管してください。
- (5) 開栓後は長期保存しないでください。

お問い合わせ先

本製品について、何かお気付きの点がございましたら下記までご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。
金陽製薬株式会社「お客様相談窓口」
電話番号 0747-22-3451
受付時間 8:30～17:30(土、日、祝日を除く)

製造販売元

Rinyo 金陽製薬株式会社
奈良県五條市住川町1420番地